

各位

上場会社名	タケダ機械株式会社
代表者	代表取締役社長 伊藤 勝信
(コード番号)	6150)
問合せ先責任者	常務取締役管理部長 池田 千尋
(TEL)	0761-58-8231)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年7月17日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年5月期第2四半期累計期間業績予想数値の修正(平成20年6月1日～平成20年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,550	70	65	60	5.90
今回発表予想(B)	1,404	47	43	39	3.85
増減額(B-A)	△146	△23	△22	△21	——
増減率(%)	△9.4	△32.9	△33.8	△35.0	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年5月期第2四半期)	1,448	7	1	△5	△0.58

平成21年5月期通期業績予想数値の修正(平成20年6月1日～平成21年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,200	147	137	127	12.48
今回発表予想(B)	2,800	85	80	70	6.88
増減額(B-A)	△400	△62	△57	△57	——
増減率(%)	△12.5	△42.2	△41.6	△44.9	——
(ご参考)前期実績 (平成20年5月期)	3,057	97	81	82	8.07

### 修正の理由

(第2四半期累計期間)

売上高につきましては、マンションや住宅及び中小建築物の着工件数の減少が要因となり、鋼材・形鋼加工業の設備投資計画の見直しや先送り等で引合いが減少しております。また、学校や病院等の公共施設の耐震補強工事の耐震化に使用する軽量及び中小径形鋼の加工機の設備投資の弱含みによる機械販売台数の減少、さらには市場の減少に伴う価格競争の激化による販売価格の低迷となり、1,404百万円(前回予想より146百万円減少)となる見込みであります。

営業利益、経常利益につきましては、市場の減少に伴う価格競争の激化による営業粗利率の低迷及び材料費高騰による製品原価の上昇、原油価格高騰に伴う旅費交通費・車両費・運賃等の販売費の増加となっており、営業利益 47百万円(前回予想より 23百万円減少)、経常利益 43百万円(前回予想より 22百万円減少)となる見込みであります。

四半期純利益につきましては、39百万円(前回予想より 21百万円減少)となる見込みであります。

(通期)

通期業績予想につきましては、当社を取り巻く事業環境は景気後退のなか、主力市場の需要低迷がより一層厳しくなることが予測されており、販売チャンネルの開拓並びに提案営業のさらなる強化を行うものの、第2四半期累計期間の売上高の減少を吸収できない見込みとなり、通期売上高 2,800百万円、営業利益 85百万円、経常利益 80百万円、当期純利益 70百万円に修正いたします。

### [予想に関する留意事項]

上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上